



1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1191800182		
法人名	ケアサポート株式会社		
事業所名	グループホームケアサポートそうか瀬崎		
所在地	埼玉県草加市瀬崎2-46-15		
自己評価作成日	平成30年4月2日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号
訪問調査日	平成30年4月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

季節に沿った行事や散歩、空間づくりに努め、ご入居様が今を感じることが出来るよう心掛けております。
 ご入居者様一人一人のご希望を考慮し、ペースに合わせた取り組みが出来るよう、そして役割を持って頂き居心地の良い空間を提供することを意識しご支援させて頂いております。地域の方にご協力頂き社会参加にも力を入れております。ボランティアの要請やサークルへの参加、公共機関を利用した外出など、個々に合わせ少しでも社会と関わりが持てるよう居室担当者を中心に企画をたてております。日々皆様笑顔で過ごすことが出来るよう、職員は明るい対応を心がけ、ご入居者様、ご家族様との信頼関係を大切にしております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・地域との関わりが大切と考えられ、地域ケア会議に参加したり、民生委員との交流に努めるなど、「周囲の皆に見守られる関係づくり」を目指した取り組みが行われている。また、職員も積極的に地域資源の利用に取り組み、利用者一人ひとりの楽しみを見つけていくことも役割と考えられている。
- ・運営推進会議には、家族、民生委員、地域包括支援センターのほか、利用者にも参加していただき、利用者を感じる将来への不安や災害発生時の地域の避難場所や避難方法の確認などが話し合われている。
- ・目標達成計画についても、運営推進会議の参加者の拡大に取り組み、民生委員や利用者が参加されるようになったことから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別紙4(2))

事業所名 そうか瀬崎

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 6月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	5月、11月に夜間、日中想定避難訓練を実施している。地域主催の防災訓練にも参加し避難場所を職員が体感するなどの機会を設けている。近隣が工場であり繋がりが希薄であるため繋がりを強化することが課題となっている。	地域との連携の強化 近隣との繋がりを持つ 地域の避難の方法や取り組みを理解し、防災の意識を全職員が持つ	地域ケア会議や交流会には積極的に参加できる環境を作る 地域の防災訓練には多くの職員が参加し、避難場所や避難方法、避難食等を体感する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。